

カブトムシが大きく なる土はどれ? 2025



言周べたきっかけ

カブトムシを育てる土の種類がたくさんあり、いつもの土を買いが迷ってしまいます。そこで、どの土が一番大きくなるのかを言周べました。去年は幼虫の数が少なかったため、今年は幼虫の数を増やして言周べました。



予想

- ①カブトムシの幼虫がいる土に一番休んでいるふ葉土で育てたカブトムシが一番大きくなる。
- ②幼虫から成虫になるまで体重はずっと増え続ける。



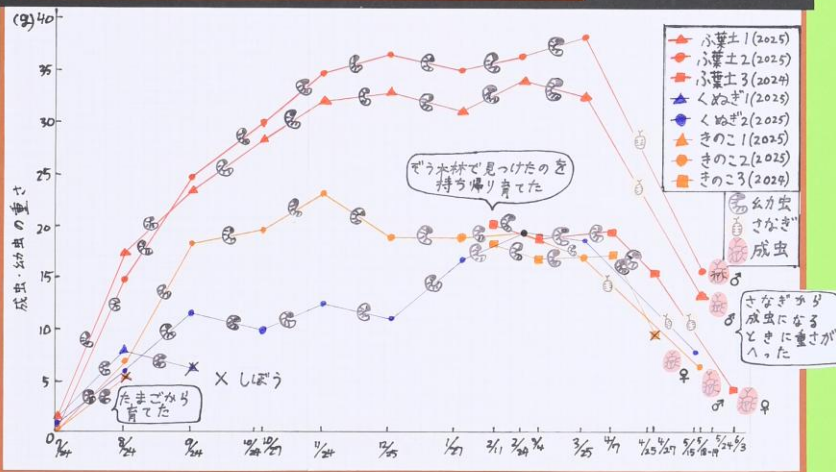
方法

- ・去年は3種類の幼虫から、2種類の土(ふ葉土・まつのこマット)で育てた。
- ・今年は1〜2種類の幼虫から、3種類の土(ふ葉土・まつのこマット・くぬぎマット)で育てた。
- ・幼虫は1匹ずつ別のケースに入れて、土は1ヶ月ごとに交かんだ。

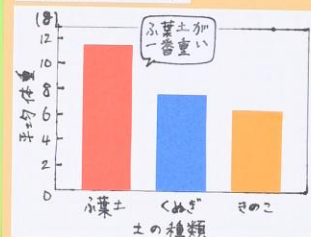


けっか

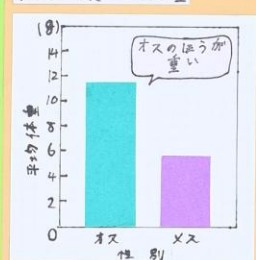
カブトムシの体重と土の種類別の関係



土の種類別の平均体重



オスメス比較の平均体重



分かったこと

- ・カブトムシが一番大きくなったのは、去年も今年もふ葉土だった。
- ・オスもメスも、体重の変化のグラフは同じような形をしていた。
- ・一番体重が増えたのは、生まれてから最初の1ヶ月間で、体重の増加は、生まれて4ヶ月後からはゆっくりになった。
- ・さなぎになる系1ヶ月前になると、体重が増え始めていた。
- ・幼虫のときに重かった個体ほど、成虫になっても重かった。



考えたこと

- ・ふ葉土マットで育てたカブトムシが一番大きくなった理由は、3種類の中で一番休んでいたため、幼虫が大きくなるための栄養が豊富に含まれていたからかもしれない。
- ・また、成長のピークや体重の増え方を見ることで、いつ幼虫が一番栄養を必要としているかが分かった。
- ・成虫になったときの体重は、さなぎになる前に決まるため、3種類の幼虫の体重を見れば、どれくらい大きくなるかを予想できると思った。